

札幌市

支那

132

大

日本

勝木



月  
廿  
二



勝本鼎一  
大阪市西淀南堀江通壹丁目

おほナノアシテ

あらわる高き毛

文治の寺に大

退院の日は

うしろにさよ

の進志の

まゆ、えり

重は今朝未だ

寝ておまき

それか否と問はず

せん文の御仕事は

それか否を問はず

せん丈の御代は是れ

ては乃が御子也

内に之を立すも

俄石室萬年塔

へむて是れより計

儀はう引ひよる

事なればよむを

はまくはははは

事なればよむを

はまくはははは

事なればよむを

はまくはははは

事事無けに、アラモロコ

アラモロコアラモロコ

三とよすまにうれよ

大勝利をも未だり

花園園主ケル

ざくわくの神

まうみ、能くよ

久、吉原の

小煙草をうるねは

し、一び紅の雪降らす、

高麗むかうす、

おめせじよ、

ハナヒラ、うすく、

おもひへ、あく。

ハナハラニシミツカニシ

ミツカニシミツカニシ

中ひゆ候今ハ空レシ

中見るやうにせり  
あらへ達念

失ふたまじ

石室

有川

多

の父上様

時